松江市高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画の進捗状況

資料１

基本理念

地域でともに支え合いいきいき暮らせるまちづくり

指標名	単位	令和元年度実績値	令和３年度実績値	**令和４年度実績値**	令和５年度目標値
幸福度が８点以上の人の割合	％	44.3	令和４年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	45.1	50.0
主観的に健康状態がよいと感じている人の割合	％	75.4	令和４年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	77.6	80.0

基本方針

1. 健康づくりと介護予防の推進（健康寿命の延伸）

指標名	単位	令和元年度実績値	令和３年度実績値	**令和４年度実績値**	令和５年度目標値
要介護認定率（施策反映後）	％	20.1	19.9	19.8	20.3
健康寿命を延伸する（65歳平均自立期間）	年	女性 21.05 男性 18.00	女性 21.68 男性 18.32	女性 21.74 男性 18.54	女性 21.66 男性 19.06

施策の柱

1. 健康づくり施策の充実・推進

指標名	単位	令和元年度実績値	令和３年度実績値	**令和４年度実績値**	令和５年度目標値
新規要介護（支援）認定者の平均年齢	歳	81.8	81.9	82.0	82.0

基本施策項目

1-1. 生活習慣病予防の取り組み強化

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
家庭で毎日血圧測定をしている人の割合	%	19.9	令和４年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	23.7	60.0
週１回以上運動やスポーツをしている人の割合	%	38.2	41.6	41. 7	65.0
松江市国保特定健診の受診率	%	49.2	41.9	41. 3 （令和5.3月末時点速報値）	60.0
新規要介護(支援)認定者の平均年齢	歳	81.8	81.9	82.0	82.0
新規で要介護２以上に認定される割合	%	27.5	26.3	27.7	25.0

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

令和４年度は、コロナ禍だからこそ重要となる生活習慣を見直すため、「るるくる」によるセルフチェックの大切さを周知することを重点的に行った。また、日常生活の中で気軽に継続して取り組める健康づくりのきっかけとして、市民の皆様に親しまれている「松江市の歌」に合わせたエクササイズを考案した。

健診については、令和３年度に引き続き受診期間を 12 月まで延長して受診機会を確保したが（※延長前の終期は 10 月末）、新型コロナウイルス感染症の影響により、受診率は伸び悩んでいる（※実績値は令和5年3月末時点の速報値）。

令和5年度は、実際にセルフチェックに取り組み、健康づくりを実践する市民が増えるよう啓発を行う。また、エクササイズの Youtube 広告により PR を行うほか、DVD や CD を作成し、保育所(園)や幼稚(保)園などに配布し、普及を図る。このほか、地域の健康づくりイベント等で活用し、 市民の健康づくりに役立てていく。

健診実施期間は、令和５年度も 12 月まで延長し、引き続き受診機会を確保するとともに、受診すべきけんしん内容を冊子にまとめた「けんしんのお知らせ」を通じた受診勧奨、「市報松江」やホームページを通じた啓発活動を実施する。

基本施策項目

1-2. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
通いの場に専門職を派遣	回	388	255	287	470

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

新型コロナウイルス感染症に留意しながら、地域の通いの場であるなごやか寄り合いや自主グループ活動等に保健師やリハビリテーション専門職の派遣を継続し、運動・栄養に関する講話や指導を実施した。また、松江市チェックリストを活用し、引き続き参加者の健康状態の把握と、状況に応じて健康相談を行った。今後も、通いの場への専門職派遣を継続し、地域の課題に対応した健康教育や健康相談を実施する。

施策の柱

2. 介護予防・重度化防止の効果的な取り組み

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
新規要支援認定者の重度化率	％	18.3	19.5	17.7	10.0

基本施策項目

2-1. 総合事業見直しによる自立支援推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
緩和型サービス事業所数	件	訪問４ 通所４	訪問63 通所85	訪問 68 通所 85	訪問 70 通所 85
緩和型サービス利用者数	人	訪問 200 通所 0	訪問 7,507 通所 12,841	訪問7,720 通所12,694	訪問 9,800 通所 16,500

自立支援強化・評価加算算定率	%	—	—	訪問 87.0 通所 81.6	90
新規要支援認定者の重度化率	%	18.3	19.5	17.7	10

【令和 4 年度末までの取組内容、課題、令和 5 年度以降の取組方針等】

令和 4 年度より自立支援強化・評価加算を開始しており、8 割を超える事業所が算定対象事業所となっている。新規立ち上げを検討している事業所からの相談を受け、令和 4 年度は訪問 7 事業所、通所2事業所の新規指定を行った。今後も事業所等に対し制度に関する相談等にきめ細かに対応し、事業の円滑な運用に努める。

基本施策項目

2-2. 通いの場支援の推進

指標名	単位	令和元年度実績値	令和 3 年度実績値	**令和 4 年度実績値**	令和 5 年度目標値
からだ元気塾の参加者数	人	845	785	840	1,100
なごやか寄り合い参加者数	人	9,066	4,666	5,078	10,000
歯つらつ健口教室の参加者数	人	109	48	55	200
通所 B の実施箇所	か所	21	24	27	40
通所 B 参加者の何もつかまらずに椅子からの立ち上がりができる人の割合	%	—	81	82	90
シニアイベント応援交付金利用団体数	団体	—	10	11	75
通いの場に専門職を派遣	回	388	255	287	470

【令和 4 年度末までの取組内容、課題、令和 5 年度以降の取組方針等】

からだ元気塾は、新規会場の立ち上げ支援に取り組み、中央エリアで新たに1会場が立ち上がった。なごやか寄

り合いは、休止中の会場の再開、新規立ち上げの支援を進めている。歯つらつ健口教室は、参加経験者へ再度参加の勧奨を行う等参加者の増加に向けた取組を進めている。今後も各事業の取組を継続して行い、参加者の増加に繋げる。

通所型サービス B について、生活支援コーディネーターを中心に立ち上げ支援を行い、3団体が新規登録に至った。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を休止している団体があるため、再開に向けた働きかけを行う。

シニアイベント応援交付金について、新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的にイベントを開催する団体が少なく、利用団体数は伸び悩んだ。令和 5 年度は、新規利用団体数の増加に向けて、広く制度を周知していく。

施策の柱

3. 生きがいづくり・社会参加の促進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
生きがいがある人の割合	%	62.1	令和４年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	61.0	80.0

基本施策項目

3-1. 高齢者が活躍できる場の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
シルバー人材センター会員数	人	801	896	894	810
シルバー人材センター受託事業受託件数	件	12,642	11,938	11,848	15,512
高齢者クラブの会員数	人	11,290	10,916	10,495	12,000
まめなかポイント事業登録活動者数	人	93	97	96	260
高齢者バス割引乗車事業延べ利用者数	人	475,453	331,307	314,907	500,000

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

シルバー人材センター会員数について、定年延長やコロナ禍により新入会員数は伸び悩んでいるが、デジタル化による入会説明会の見直し、会員による新規会員紹介運動、PR 活動の強化等により、会員数の増加に向けて取り組んでいく。

シルバー人材センター受託事業受託件数について、令和４年度より、就業先や新規事業等の開拓、人材マッチング等を行うコーディネーターを配置し、就業機会の拡充を図っており、女性会員に向けた就業意向調査や、松江商工会議所との意見交換を行い、新たな就業先の開拓に向けて取り組んでいる。また、就業依頼が多い職種と会員が希望する職種にミスマッチがあり、対応可能な会員がおらず受託できないケースもあり、会員が希望する職種の就業開拓が今後の課題となっている。

高齢者クラブの活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止・縮小となる中で、グラウンドゴルフ大会やニュースポーツ大会、各地区のクラブでの活動等を感染状況に配慮しながら実施した。コロナ禍においても、会員加入促進に向けた活動は継続しているが、会員数は減少している。今後は、感染状況を見ながら、事業の再開等を図り、会員の加入促進を図っていく。

まめなかポイント事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により受入施設でのボランティア活動が制限され、個人登録者の活動が非常に困難な状況が続いた。今後は広報誌や社協だよりを活用し、制度の周知を図り、登録活動者数の増加を目指す。また活動の場となる受入施設の拡充を図っていく。

高齢者バス割引乗車事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少した。令和4年3月より、これまでの高齢者福祉手帳・高齢者証を利用したバスカードによる割引制度から高齢者優待ICOCA を利用した割引制度に移行している。今後は、対象者や関係機関に広く周知することにより、利用の促進を図っていく。

基本施策項目

3-2. 高齢者のボランティアや趣味活動の促進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
なごやか寄り合い実施会場数	か所	372	254	302	400
なごやか寄り合いボランティア数	人	2,262	1,177	1,541	2,500
生きがいがある人の割合	%	62.1	令和４年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	61.0	80.0

シニアイベント応援交付金利用団体数	団体	―	10	11	75

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

令和５年３月に、なごやか寄り合い世話人同士の情報交換や、コロナ禍での活動についての研修会を開催し、101 人の参加があった。新型コロナウイルス感染症の影響により活動中止としていた団体も多くあるため、今後も再開の働きかけを行うとともに、継続して新規立ち上げ支援を行う。

施策の柱

4．地域における支え合う体制強化

指標名	単位	令和元年度 実績値	令３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
何かあったときに相談する相手が居る人の割合	%	59.2	令和４年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	66. 2	73.0

基本施策項目

4-1．要配慮者支援の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
要配慮者支援組織の世帯カバー率	%	37.9	42	43.3	70

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

これまでの自治会や自主防災組織の単位を基本とした組織化に加えて、より大きなエリアを対象とする公民館や自治会連合会等を母体とした組織の設立を進めた。引き続き、地域の実情に応じた働きかけをすることにより、世帯カバー率を高めていく。

基本施策項目

4-2. 地域課題の解決支援

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
何かあったときに相談する相手が居る人の割合	%	59.2	令和４年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	66.2	73.0
第１層生活支援コーディネーターの地域ケア会議への参加数	回	0	2	1	6
第２層生活支援コーディネーターが活動支援を行った協議体数	団体	29	29	29	29

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

第1層生活支援コーディネーターが地域ケア会議の評価会議に参加し、各圏域から挙げられた課題の把握に努めた。令和5年度以降は、評価会議に加えて各圏域で開催される地域ケア会議に参加し、各圏域の課題を抽出し、市全域の課題と施策提言に繋げる。

第2層生活支援コーディネーターは、市内全29地区で設置されている協議体への活動支援を行った。引き続き、地域課題の抽出と解決に向けた支援を継続する。

基本方針

2. 多様なニーズに対応した介護サービスの提供

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
住みやすさの実感割合	%	82.2	82.8	81.5	95.0

施策の柱

5. 医療・介護の連携強化

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
介護サービスを在宅で受けながら生活できると考えている人の割合	%	75.7	令和４年度に実施予定の「在宅介護実態調査」で確認	73.2	80.0

基本施策項目

5-1. 在宅医療・介護連携の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
市民講座開催	か所	14	16	17	29
ACP について話し合った人の割合	%	33.1	令和４年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	28.1	40
介護サービスを在宅で受けながら生活できると考えている人の割合	%	75.7	令和４年度に実施予定の「在宅介護実態調査」で確認	73.2	80.0

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

引き続き松江市医師会の医療連携推進コーディネーターと連携し、医療・介護関係者間の情報共有、相談支援、研修を通して課題抽出を行い、各関係機関と対応策の検討を進めた。

市民講座について、住民と医療・介護関係者が地域における在宅医療・介護連携のあり方を共有し、理解を深める取組を進めている。公民館単位で開催しており、令和4年度は津田地区で開催した。また、市民向けの在宅医療・介護あんしんガイドを作成し、令和5年度には、これらを用いて感染状況に留意しながら市内全 29 地区での開催に向けて取組を進める。

ACPについて、松江市終活支援ノートに、新たに ACP に関する情報を追加し、公民館等へ配布した。また、まつえ ACP 普及啓発推進協議会とともに、医療・介護関係者等を対象にした研修会を開催した。今後もACPに関する取組が進むよう、講演会や終活支援ノートを活用した出前講座等の開催を支援する。

基本施策項目

5-2. リハビリテーションサービス提供体制の構築

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
リハビリテーション職とケアマネジャーの意見交換会の開催回数	回/年	0	0	1	1
通所リハビリテーション利用率	%	7.37	7.55	7.20	8.96

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

リハビリテーション専門職とケアマネジャーがお互いの役割について理解を深めるため、松江市、島根県リハビリテーション専門職協議会、及び松江地域居宅介護支援専門員協会の共催でオンライン研修会を開催し、相互の情報共有を実施した。今後は両団体が中心となり研修会が運営できるよう支援に努める。

基本施策項目

5-3. 多職種連携による生活支援

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
多職種連携会議開催	か所	7	7	7	8
事例検討会の開催	件	128	70	72	200

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

日常生活圏域ごとに開催されている多職種連携では、地域住民と地域の医療・介護関係者が連携して、地域特性や社会資源等に加え、感染症の影響や災害への備え等の新たな課題等も踏まえた地域課題の共有や、解決に向けた具体的な取組の支援をしている。今後も会議で挙げられた地域課題に応じた支援を進める。

事例検討会について、令和４年度から、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、集合参加とオンライン参加を併用して開催した。また、これまで感染症の影響により縮小して開催していたが、1回あたりの検討事例数を4事例から6事例に戻して開催した。

施策の柱

6. 適正化の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
ケアマネジャー研修会の参加延べ人数	人	95	174	149	200

基本施策項目

6-1. 給付適正化（ケアマネジメント機能強化）の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
ケアプラン点検年間実施数	件	8	119	120	15
ケアマネジャー研修会の参加延べ人数	人	95	174	149	200

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

令和４年度のケアプラン点検について、全体的な傾向や課題を見える化するために、令和３年度に引き続き全居宅介護支援事業所を点検対象とした（※）。

令和５年２月にはケアマネジャー研修会を開催し、ケアプラン点検結果をフィードバックするとともに、『介護保険制度における「適正なケアプラン」の作成～特定事業所加算・介護サービス各種加算の根拠と職種間連携を中心に～」』と題した講演により、自立支援型ケアマネジメントのあり方について考察した。

令和５年度においても、給付適正化に資する取り組みとして介護支援専門員協会と連携し、ケアプラン点検及びケアマネジャー研修会を企画・実施する。

（※）令和5年度目標値は、対象事業所を選定した上で実施することを想定して目標設定を行ったが、令和3年度及び令和4年度は全居宅介護支援事業所を対象とし、点検を実施することとしたため、実績値が目標値を大幅に上回ることとなった。

基本施策項目

6-2. 有料老人ホーム･サービス付き高齢者向け住宅のサービスの質の向上

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
有料老人ホーム(サ高住含む)の実地指導件数	延べ件数	34	55	65	80

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

運営指導では、サービス利用者の人権を尊重する取組の推進状況及び事故の予防と発生時の適切な対応等を重点的に確認した。また、令和３年度の指導指針の改正により新たに努力義務とされた項目についても確認した。更に、募集時や契約締結前での必要な措置についても注目し確認した。令和5年度は、例年の重点項目に加え、令和6年度より義務となる項目の周知を行っていく(※現在は経過措置により努力義務とされている)。

指導件数について、新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮しつつ、予定件数を実施できるよう努める。

基本施策項目

6-3. 要介護認定適正化の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
介護認定重度変更率の最大値	%	23.57	21.85	9.88	15
新規申請の認定までの平均期間	日	43.8	45.6	39.1	35

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

要介護認定の松江市の審査傾向について、介護認定審査会役員会で議論した。認定審査会委員研修では委員にアンケートや模擬審査を実施し、審査傾向をより細やかに分析することができた。合議体別の重度化変更率なども共有し、審査の平準化を違う角度から考えていただく機会となった。過度の重度化変更など発生しないためにも、引き続き、審査会委員研修等による認定適正化に努める。

新規申請の認定までの平均期間について、申請数、主治医意見書の提出、及び審査会の日程調整等複数の要素で変動している。今後は、訪問調査の効率的な実施方法についても検討を進めるとともに、引き続ききめ細やかな主治医意見書の提出依頼を継続し、認定までの期間短縮に努める。

施策の柱

7. 地域共生社会に向けた包括的支援

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
福祉総合相談窓口設置数	か所	15	14	47	35

基本施策項目

7-1. 全世代・全対象型地域包括支援体制の構築

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
地域包括支援センター配置人数	人	31	33	36	36
福祉総合相談窓口設置数	か所	15	14	47	35

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

地域包括支援センターの人員について、市が定める条例の定員基準の人数は満たしているが、保健師・主任介護支援専門員において配置基準を満たしていない状況が続いている。全世代を対象とする総合相談窓口として、障がいのある方、子ども、生活困窮者等地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応するため、今後も計画的な人員確保に努める。

福祉総合相談窓口について、「ふくしなんでも相談所」において、分野にとらわれず地域住民の相談を受け付け、総合的なサポートを実施した。また、令和4年4月1日には、松江市社会福祉法人連絡会に参加している9つの社会福祉法人が各事業所に計20か所の「ふくしなんでも相談窓口」を、市内薬局13か所に「ふくしなんでも相談所連携薬局」を設置し、「ふくしなんでも相談所サテライト」の拡充を図った。さらなる拡充に向け、引き続き協力法人との調整を進める。

基本施策項目

7-2. 共生型サービスの普及・推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
共生型サービス指定の手引の作成	冊	0	0	0	1

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

共生型サービスの新規取組を希望する事業者からの相談に対応し、令和5年度に開設予定。今後は、国から示されている指針や報告書等を参考として、指定のための手引きを令和5年度末までに作成する。

基本施策項目

7-3. 介護離職ゼロを目指す相談体制の充実強化

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
地域包括支援センター配置人数	人	31	33	36	36
家族介護者交流事業参加人数	人	59	45	51	100
介護離職防止連携会議の開催	回/年	―	0	0	2

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

家族介護者交流会について、「ケアマネジャーに聞いてみよう～介護のあれこれ～」をテーマに開催し、15 人（うち市民９人）が参加した。男性介護者フリースペースでは、居宅介護支援事業所への周知ならびに松江市社会福祉協議会の広報誌（社協だより）を活用した事業の周知を図り、参加者の増加に繋がっている。

令和５年度は、在宅介護実態調査の結果を基に、介護者が負担と感じている介護内容をテーマにした交流会を開催するなど、介護者のニーズに沿った内容を企画し、参加者の増加に繋げる。

基本方針

3. 認知症施策の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
認知症に関する相談窓口を知っている人の割合	%	29.2	令和４年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	27.2	60.0
要配慮者支援組織の世帯カバー率	%	37.9	42	43.3	70.0

施策の柱

8. 認知症の共生・予防

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
認知症に関する相談窓口を知っている人の割合	%	29.2	令和４年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	27.2	60.0

基本施策項目

8-1. 本人・家族への支援

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
認知症カフェ設置数	か所	8	9	8	10
認知症初期集中支援チーム対応件数	件	26	32	33	50

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

市主催の認知症カフェは4月から12月まで開催し（1 月から４月、7 月、8 月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）、延べ 71 人（うち本人 6 人、家族 17 人）が参加した。令和５年度も本人や家族の支援のため、市主催の認知症カフェを継続して開催する。また、新型コロナウイルス感染症の影響により休止している認知症カ

フェの再開に向けて、認知症カフェ主催者の交流会を開催する予定としている。
　認知症初期集中支援チームについて、令和４年度に１件対応し、受診や適切なサービス利用に繋げている。今後、介入ケースの実態把握と支援方法の見直しを図るため、支援チームとの運用の見直しを進めている。

基本施策項目

8-2. 認知症バリアフリーの推進

指標名	単位	令和元年度実績値	令和３年度実績値	**令和４年度実績値**	令和５年度目標値
見守りネットワークの協力事業者数	事業者	255	258	282	300
SOS ネットワーク登録者数	人	1,134	1,246	1,375	1,500
チームオレンジ設置数	か所	1	1	1	3

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】
　見守りネットワーク体制の強化のため、協力事業者の拡大及び新たな見守りツールの導入を進めた。見守り協力事業者は 282となり、日々の業務の中での見守り活動に取り組んでいただいている。
　今年度から行方不明高齢者の対策として、QR コード付きの見守りシールの試行運用を開始。実際に保護に繋がった事例もあり、シールの活用に一定の効果が見込めることから、10 月１日より「松江市見守りシール給付事業」の運用を正式に開始した。現在は、多くの市民に事業周知を図るため、SNS 等様々な媒体を活用した周知活動を進めている。
　チームオレンジについて、令和５年度の立ち上げに向けて、通いの場を運営している社会福祉法人との協議を進めている。

基本施策項目

8-3. 普及啓発・予防

指標名	単位	令和元年度実績値	令和３年度実績値	**令和４年度実績値**	令和５年度目標値
認知症サポーター養成講座受講者数	人：累計	20,949	22,579	23,323	27,000

認知症キャラバン・メイト実働者割合	%	61.0	74.3	75.0	80.0
からだ元気塾の参加者数	人	845	785	840	1,100
なごやか寄り合い参加者数	人	9,066	4,666	5,078	10,000

【令和 4 年度末までの取組内容、課題、令和 5 年度以降の取組方針等】

認知症サポーター養成講座について、引き続きオンラインによる開催や受講人数を制限する等新型コロナウイルス感染症に留意しながら、学校、企業、自治会等で認知症サポーター養成講座を開催し（令和5年3月末時点で計31回）、744人が参加した。今後は、小・中学校、高校生等若年世代への養成講座の開催に向けて関係機関への働きかけを行う。

キャラバン・メイトについて、非活動者への働きかけにより実働者割合の向上につなげた。今後、フォローアップのための研修会開催を検討する。

基本施策項目

8-4. 権利擁護・虐待の予防と対策

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	**令和 4 年度 実績値**	令和 5 年度 目標値
成年後見制度利用者数	人	500	547	554	600

【令和 4 年度末までの取組内容、課題、令和 5 年度以降の取組方針等】

松江市権利擁護推進センターにおいて、成年後見制度の利用、相談支援を実施するとともに、地域への出前講座・研修の実施等による広報、啓発活動に取り組んだ。引き続き、出前講座や研修会、講演会の開催等を通して、広く市民の皆様へ権利擁護についてご理解いただく機会を設け、成年後見制度の利用促進を図っていく。

基本方針

4．介護人材の確保

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
介護職員の充足率	%	15.0	11.3	10.3	25.0

施策の柱

9．地域包括ケアを支える介護人材の育成・定着

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
介護職員の充足率	%	15.0	11.3	10.3	25.0

基本施策項目

9-1．介護職員の処遇改善

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
介護職員処遇改善加算届出事業所数	件	579/759 (76.3%)	727/747 (97.1%)	730/747 (97.7%)	760/760 (100%)
介護職員特定処遇改善加算届出事業所数	件	268/759 (35.3%)	547/747 (73.2%)	556/747 (74.4%)	532/760 (70%)
働きやすい職場づくりに資する研修会への参加事業所数	年間回数/1事業所	ー	0/1	0/1	1/1

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

介護職員処遇改善加算・介護職員特定処遇改善加算について、未取得の事業所に対して個別に働きかけを行い、取得に向けた事業所からの相談に応じる等の支援を行った。この個別の働きかけや相談を進めるうえで、未取得の事業所については、「これらの加算を取得することによって、法人内の別の医療事業の従事者と賃金に差

が生じる」、「親族で行っている事業なので、加算にこだわらない」といった特殊な事情があることが分かった。

また、令和４年10月に介護現場で働く職員の処遇改善を更に加速させるために新設された介護職員等ベースアップ等支援加算の取得実績は91．9％である。ベースアップ等支援加算の取得要件は処遇改善加算を取得した上でベースアップ等支援加算を財源として職員のベースアップ等の給与に充当できる賃金規定等を有していればよく、制度上取得しやすい加算である旨を周知し更なる取得率向上を目指す。

これらの取得に関し、引き続き各事業所に対して未取得の理由を聴き取りしたうえで助言を行う等、個別かつ具体的な事務手続き上の支援を行う。

基本施策項目

9-2. 介護業界のイメージアップ

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
介護の出前授業実施中学校数	校	3	5	6	17
介護の情報誌発行数	冊	0	0	1	1
中国地方管内福祉人材養成校へのアプローチ数	校：累計	0	0	0	30

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

介護の出前授業について、令和4年度は新たに1校増え、計6校で実施した。令和３年度に続き、委託先の松江市社会福祉協議会及び市内介護事業所職員によるオリジナル教材の活用や、松江農林高の生徒の参加等、内容の充実を図っている。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた介護事業所の職員が参加できないケースがある。今後は、感染症の影響や希望する中学校数の増加を見据え、本取組に協力していただける介護事業所の職員を増やしていくことが課題となる。

介護の情報誌について、本市の介護職、介護職員及び介護事業所等の紹介や魅力発信を行うための PR 冊子を作成した。今後、中国地方管内福祉人材養成校へのアプローチを実施することとしている。

基本施策項目

9-3. 元気高齢者の活躍

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
介護の入門的研修の参加者数	人	3	15	11	30
ハローワーク等関係機関との協議回数	回:累計	0	0	0	2

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

介護の入門的研修について、11名が参加した。今後は広報や周知に力を入れ、参加者数の増加に向けて取り組んでいく。また、引き続き、介護の入門的研修等の機会を通して介護人材のすそ野を拡げるとともに、事業所の人材確保に係る実態を把握し、関係機関と協議しながら高齢者等の介護職場への就労促進を図る。

基本施策項目

9-4. ICT 等の活用

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
介護の ICT 化ハッカソン開催回数	回:累計	0	0	0	2
先進的事例を紹介・共有する場の開催回数	回:累計	0	1	2	3
ICT 導入法人数	件:累計	4	10	16	24

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

ICT の活用を含む先進的な事例を紹介する事業者向けのセミナーを３月にし、15 事業所が参加した。今後は、現在実施している「介護人材の確保等に関する実態調査」の結果をもとに事業所におけるニーズを把握したうえで、セミナーの内容等を検討し、業務効率化及び職員の負担軽減に向けた ICT 等の活用を促進していく。

基本施策項目

9-5. 業務効率化の取り組み

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
事業所間交流する場の検討回数	回:累計	0	0	0	3
法人間連携の調査研究回数	回:累計	0	0	0	3

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

事業所間交流について、介護事業所と連携し、事業所の垣根を越えて経験年数の浅い職員が基本的な接遇等を学ぶ研修を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により集合型の研修の開催が難しく、中止となった。

人材活用策等に係る法人間連携について、現在実施している「介護人材の確保等に関する実態調査」の結果をもとに事業所のニーズや課題を把握したうえで、介護人材確保検討会議で意見を集約し、今後の取組につなげる。

基本施策項目

9-6. 外国人材の活用

【令和４年度末までの取組内容、課題、令和５年度以降の取組方針等】

12 月に介護事業所の外国人材活用セミナーを開催し、市内１事業所が参加した。今後は、現在実施している「介護人材の確保等に関する実態調査」の結果をもとに事業所のニーズや課題を把握したうえで、同様の事業所向けのセミナーを開催する場合は、事業所が求めるテーマの選定や効果的な周知方法等を検討していく。

基本方針

災害・感染症対策

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和３年度 実績値	**令和４年度 実績値**	令和５年度 目標値
介護サービス事業所における業務継続計画(BCP)の策定率	%	12.8	13.1	15.2	100

【令和 4 年度末までの取組内容、課題、令和 5 年度以降の取組方針等】

これまで、市とケアマネ協会の共同開催により事業継続計画に関する研修会を実施し、また集団指導における指導において制度説明を行うとともに、個別事業所に対する運営指導において事業所ごとに策定状況を確認し義務化期限までの策定を促してきた。今後は、令和5年夏をめどに松江市独自の研修会を実施し更なる事業者の理解醸成を図るとともに、また運営指導では引き続き個別の指導にあたり全事業所策定に向け取り組んでいく。